

## 野口善敬 教授

研究業績

2022年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
論文(単)	「元代虎丘派研究—中峰禪の行方」、修士論文、88頁	1979. 1
論文(単)	「元代禪宗史研究」、博士論文、700頁(禪文化研究所、2005. 7出版)	2005. 6
著書(単)	『訳註・清初僧諍記—中国仏教の苦悩と士大夫たち—』、中国書店、245頁	1989. 9
著書(単)	『東沢瀉(シリーズ陽明学・35)』、明德出版社、225頁	1994. 5
著書(単)	『ナムカラタンノーの世界—『千手経』と「大悲呪」の研究—』、禪文化研究所、268頁	1999. 7
著書(共)	『袁中郎 珊瑚林—中国文人の禪問答集—』、ペリかん社、245頁(共著者、荒木見悟ほか11名)、全349条中36条担当	2001. 3
著書(共)	『竹窓随筆—明末仏教の風景—』、中国書店、547頁(共著者、荒木見悟ほか12名)、全428条中71条・塔銘・解説担当	2007. 6
著書(編)	『禪門陀羅尼の世界—安穩への秘鍵、禪文化研究所、392頁	2007. 12
著書(編)	『開甘露門の世界』、禪文化研究所、全266頁	2008. 5
著書(共)	『新アジア仏教史』第8巻、第2章 元・明の仏教、佼成出版社、80頁	2010. 9
著書(共)	『月堂和尚語録』、中国書店、437頁	2010. 10
著書(共)	『『朱子語類』訳注 巻126「釈氏」』、汲古書院(共著者：廣田宗玄、本田道隆、森宏之) 598頁	2013. 7
著書(共)	『卍山道白禪師 東林語録 訳注』、汲古書院(共著者：本多寛尚、松岡博和、梅田泰隆、森宏之) 625頁	2014. 11
著書(共)	『中峰明本『山房夜話』訳注—禪への疑問に答えた元代名僧の問答集—』、汲古書院(共著者：松原信樹) 357頁	2015. 5
論文(単)	「天目中峰研究序説」『中国哲学論集』4、九州大学、15頁	1978. 10
論文(単)	「未悟禪—天目中峰研究—」『九州中国学会報』22、12頁	1979. 5
論文(単)	「聖一國師の宗風と承天寺」、福岡県文化会館博多承天寺展、2頁	1981. 2
論文(単)	「元代禪門の苦悩—笑隠大訥の行状をめぐって—」『九州中	1981. 5

	国学会報』23、12頁	
論文(単)	「禪淨一致に関する意一考察一天如惟則から雲棲株宏へ一」 『荒木教授退休記念中国哲学史研究論集』、18頁	1981. 12
論文(単)	「明代前期禪門の一断面一壽峰本善と空谷景隆を巡って一」 『日本中国学会報』34、12頁	1982. 10
論文(単)	「明末虎丘派の源流一笑巖徳宝と幻有正伝一」『九州大学哲 学年報』42、20頁	1983. 1
論文(単)	「明末の仏教居士黄端伯を巡って」『九州大学哲学年報』43、 26頁	1984. 2
論文(単)	「費隱通容の臨濟禪とその挫折一木陳道忞との対立を巡って 一」『禅学研究』64、25頁	1985. 11
論文(単)	「明末に於ける「主人公」論争一密雲円悟の臨濟禪の性格を 巡って一」『九州大学哲学年報』45、34頁	1986. 2
論文(単)	「明末清初僧諍覚書(1)覚浪道盛の密雲円悟の批判を巡って」 『宗学研究』29、6頁	1987. 3
論文(単)	「明末清初僧諍研究資料について」『第一届中国域外漢籍国 際学術会議論文集』、41頁	1987. 11
論文(単)	「『禅海一瀾』と『禅海翻瀾』一日本最後の儒仏論争一」『第 二届中国域外漢籍国際学術会議論文集』、26頁	1989. 2
翻訳(共訳)	「和訳『景德伝燈録』(一)」『活水日文』21、41頁	1990. 3
翻訳(単訳)	「東沢瀉『禅海翻瀾』(訳注)一上一」『禅学研究』68、36 頁	1990. 3
論文(単)	「牧雲通門の『五論』をめぐって一明末清初僧諍覚書(2)一」 『宗学研究』32、6頁	1990. 3
論文(単)	「遺民晦山戒顕について」『禅文化研究所紀要』16、24頁	1990. 5
翻訳(単)	「東沢瀉『禅海翻瀾』(訳注)一下一」『禅学研究』69、27 頁	1991. 2
論文(単)	「『宗範』について一明末清初僧諍覚書(3)一」『宗学研究』 33、6頁	1991. 3
論文(単)	「晦山戒顕年譜稿」『第四届中国域外漢籍国際学術会議論文集』 、26頁	1991. 8
論文(単)	「博多の禅僧一栄西・円爾・紹明一」『博多禅・日本の禅宗 の発生と展開』、福岡市博物館、4頁	1991. 10
論文(単)	「「本来無一物」は外道の法」『禅文化研究所紀要』18、50 頁	1992. 5
論文(単)	「関于明末“本来無一物”是“外道法”的論争」『伝統文化 』	1992. 5

	与東亜社会』、中国人民出版社、17 頁	
翻 訳（共訳）	「和訳『景德伝燈録』（二）」『活水日文』25、25 頁	1992. 9
翻 訳（共訳）	「袁中郎『珊瑚林』訳注（一）」『九州大学中国哲学論集』19、16 頁	1993. 10
論 文（単）	「亀井の五亀」『江河万里流る一甦る孔子と亀陽文庫』、11 頁	1994. 12
論 文（単）	「雍正帝と仏教」『町田教授退官記念中国思想史論叢』、23 頁	1995. 3
論 文（単）	「漢月法蔵と士大夫たち－雍正帝から魔蔵と呼ばれた僧侶－」『東洋古典学研究』2、32 頁	1996. 10
論 文（単）	「關於木陳道忞の著述」『東亜文化的探索』、台北正中書局、19 頁	1996. 11
論 文（共訳）	「和訳『景德伝燈録』（三）」『活水日文』34、28 頁	1997. 3
論 文（単）	「梵達摩訳『千手経』の諸本について」『禅文化研究所紀要』24、15 頁	1998. 12
論 文（共訳）	「和訳『景德伝燈録』（四）」『活水日文』37、72 頁	1999. 3
論 文（共訳）	「和訳『景德伝燈録』（五）」『活水日文』38、18 頁	1999. 9
論 文（単）	「雍正帝の仏教資料について」『東洋古典学研究』9、24 頁	2000. 5
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（一）」『活水日文』40、18 頁	2000. 9
論 文（単）	「雪関智闇と「主人公」論争」『九州大学中国哲学論集』25、31 頁	2000. 10
論 文（単）	「禅門における「いやし」－中峰明本と大慧宗杲の教示を参考に－」『対一説』2、23 頁	2001. 3
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（二）」『活水日文』41、29 頁	2001. 3
論 文（単）	「明治期の東沢瀉と今北洪川」『陽明学』13、23 頁	2001. 3
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（三）」『活水日文』42、69 頁	2001. 9
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（四）」『活水日文』43、18 頁	2002. 3
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（五）」『活水日文』45、22 頁	2002. 3
論 文（単）	「輪廻と中有一追薦供養の背景にある二つの要素－」『対一説』3、75 頁	2002. 5
論 文（単）	「儒教における祭祀」『対一説』3、23 頁	2002. 5
論 文（共訳）	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注（六）」『活水日文』44、31 頁	2002. 12
論 文（単）	「元代江南における住持任命権者の変遷」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』1、42 頁	2003. 4
論 文（共）	「「楞嚴呪」を讀誦する功德－『楞嚴経』卷七・訳注一」『臨	2003. 4

	濟宗妙心寺派教学研究紀要』1、53頁	
論文(単)	「元代文宗期における仏教興隆」『福岡女子大学国文学』香椎潟、17頁	2003. 6
論文(共訳)	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注(七)」『活水日文』45、21頁	2004. 1
論文(共訳)	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注(八)」『活水日文』47、25頁	2004. 4
論文(共訳)	「施餓鬼の経典一訳注『救拔餓鬼陀羅尼経』『面然餓鬼陀羅尼経』」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』2、43頁	2004. 5
論文(単)	「禅と儒教・道教の思想」『大法輪』71-6、5頁	2004. 6
論文(単)	「元代における五山十刹の位次」『禅文化研究所紀要』27、21頁	2004.12
論文(単)	「径山の憂鬱」『駒澤大学禅研究所年報』16、30頁	2004.12
論文(共訳)	「雲棲株宏『竹窓随筆』訳注(九)」『活水日文』46、30頁	2004.12
論文(共訳)	「「仏頂尊勝陀羅尼」の効能一仏陀波利訳『仏頂尊勝陀羅尼経』訳注」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』3、49頁	2005. 4
論文(共訳)	「「開甘露門」の源流一『幻住庵清規』付録「開甘露門」訳注一」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』4、83頁	2006. 7
論文(単)	「雲棲株宏の評価をめぐって」『花園大学国際禅学研究所紀要』2、27頁	2007. 3
論文(単)	「「関山」道号頌に込められたもの」『正法輪』57-5、5頁	2007. 5
論文(共訳)	「「却温神呪」を誦する効果一『仏説却温黄神呪経』訳注一」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』5、17頁	2007. 5
論文(共訳)	「禅と浄土の接点一『抜一切業障根本得生浄土神呪』訳注一」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』5、23頁	2007. 5
論文(単)	「大応国師一日本臨濟禅の宗祖一」『大応国師と崇福寺』、福岡市美術館図録、12頁	2007. 9
論文(単)	「玉林通秀の禅と「主人公」論争一名僧の条件一」『東洋古典学研究』24、34頁	2007.10
論文(単)	「禅門の語録はどうあるべきか一牧雲通門「式古要論」の主張一」『花園大学国際禅学研究所論叢』第3号、1~37頁	2008. 3
論文(単)	「牧雲通門の著述について」『臨濟宗妙心寺派教学研究紀要』第6号、115~128頁	2008. 5
論文(共訳)	「『朱子語類』巻126「釈氏」訳注(1)」『東洋古典学研究』26、50頁	2008.10
論文(単)	「『圓悟心要』と『円悟語録』の「法語」について」『花園大学国際禅学研究所論叢』4、46頁	2009. 3
論文(共訳)	「『朱子語類』巻126「釈氏」訳注(2)」『東洋古典学研究』27、	2009. 5

	53 頁	
論文（共訳）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」語注（3）」『東洋古典学研究』28、45 頁	2009. 10
論文（共訳）	「鄧豁渠『南詢録』訳注（一）」『活水論文集』53、26 頁	2010. 3
論文（共訳）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」訳注（4）」『東洋古典学研究』29、35 頁	2010. 5
論文（共訳）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」訳注（5）」『東洋古典学研究』30、49 頁	2010. 10
論文（単）	「明末清初における天童寺の住持について」『禅学研究』89、29 頁	2011. 3
論文（共訳）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」訳注（6）」『東洋古典学研究』31、43 頁	2011. 5
論文（共訳）	「明末清初の中国臨済禅 黄檗禅出現の背景」『特別展 黄檗』九州国立博物館図録、6 頁	2011. 5
論文（単）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」訳注（7）」『東洋古典学研究』32、43 頁	2011. 10
論文（共訳）	「『朱子語類』卷 126「釈氏」訳注（8）」『東洋古典学研究』33、26 頁	2012. 3
論文（単）	「明末における大慧派出現の意味—蜀の吹万広真—」『哲学資源としての中国思想 吉田公平教授退休記念論集』、研文出版、24 頁	2013. 3
論文（単）	「後世における大慧宗杲評価」『花園大学国際禅研究所論叢』8、22 頁	2013. 3
論文（単）	「大慧宗杲と大悟小悟の二句」『臨済宗妙心寺派教学研究紀要』11、21 頁	2013. 5
論文（共訳）	「『圓悟必要』訳注（1）」『臨済宗妙心寺派教学研究紀要』11、87 頁	2013. 5
論文（単）	「禅宗は大乗仏教嗎？」『佛学研究』總第 22 期、6 頁	2013. 12
論文（単訳）	「〔無夢—清関係〕墨蹟読解」『中国を旅した禅僧の足跡』図録、九州国立博物館、24 頁	2014. 5
論文（単）	「禅—心をかたちに—」『臨済禅師 1150 年白隠禅師 250 年遠諱記念 禅—心をかたちに—』9 頁	2016. 4
論文（単）	「経典と回向文」『臨済宗黄檗宗 宗学概論』21 頁	2016. 4
論文（単）	「法要行事…檀徒行事」『臨済宗黄檗宗 宗学概論』18 頁	2016. 4
論文（単）	「禅林墨蹟の二面性」『禅からみた日本中世の文化と社会』6 頁	2016. 7

論文(単)	「寂室元光と中峰明本」『禪文化』242、10頁	2016. 10
論文(単)	「禪門の法式・法具における黄檗禪の影響」『十七世紀の東アジア文化交流—黄檗宗を中心に』(日本学研究叢書30)、29頁	2018. 6
論文(単)	「雪嶠円信法系与《拋源録》」『仏光学報』新5巻第1期、28頁	2019. 1
論文(単)	「祈禱の陀羅尼・経典—なぜ禪門で祈禱をするのか—」『禪文化』第251号、	2019. 1
論文(単)	「明清期における禅僧の伝記資料の特徴について」『花園大学国際禅学研究所論叢』第16号、49頁	2021. 3
論文(単)	「明清代の禅に関する研究について」『国際禅研究』第8号、10頁	2022. 1
論文(単)	「中国の看話禅における話頭の推移」『国際禅研究』第9号、83頁	2022. 2
論文(単)	「看話禅における『禅関策進』の位置付け」『禅学研究』第100号、23頁	2022. 3
目録・索引(共)	「伝習録索引」、九州大学中国哲学史研究室編、325頁	1977. 3
目録・索引(共)	「久留米市民図書館所蔵和漢書目録(漢籍の部)」、久留米市教育委員会、48頁	1983. 2
目録・索引(共)	「伝習館文庫蔵書分類目録・漢籍の部」、文献出版、44頁	1984. 9
目録・索引(共)	「聖福寺収蔵品目録(漢籍の部)」、福岡市教育委員会、83頁	1986. 3
目録・索引(共)	「崇福寺収蔵品目録(漢籍の部)」、福岡市教育委員会、65頁	1990. 3
目録・索引(共)	「東長寺収蔵品目録(漢籍の部)」、福岡市教育委員会、7頁	1993. 3
目録・索引(単)	「『蔵経書院本』稀観禅籍目録」『第六回中国域外漢籍国際学術会議論文集』、78頁	1993. 5
目録・索引(共)	「江南山梅林寺所蔵 典籍・文書総合目録」、江南山梅林寺、210頁	2000. 4
目録・索引(単)	「明末清代仏教の語録・著述とその法系」『東洋古典学研究』10、25頁	2000. 10
目録・索引(共)	「蔣山萬壽寺所蔵『嘉興大蔵経』目録」禅文化研究所	2019. 1
書評・解題(単)	「近世漢籍叢刊四編元明仏教編」、中文出版社、18頁	1984. 3
書評・解題(単)	「旅日高僧隠元中土来往書信集」『中国史研究動態』215、3頁	1996. 11

書評・解題(単)	「西尾賢隆『中国近世における国家と禅宗』書評」、中外日報6月22日号、1頁	2006. 6
学会発表(単)	「天目中峰の儒仏観」、九州中国学会、於 福岡女子大学	1978. 5
学会発表(単)	「明末の仏教居士黄端伯を巡って」、日本中国学会、於 広島大学	1983. 10
学会発表(単)	「費隠通容における臨済禅復興」、日本中国学会、於 大東文化大学	1984. 10
学会発表(単)	「明末清初僧諍研究資料について」、中国域外漢籍国際学術会議、於 明治大学	1986. 9
学会発表(単)	「明末清初僧諍研究覚書」、宗学大会、於 駒澤大学	1986. 11
学会発表(単)	「『禅海一瀾』と『禅海翻瀾』—日本最後の儒仏論争—」、中国域外漢籍国際学術会議、於 台北聯合報	1987. 12
学会発表(単)	「『禅海一瀾』の成立について」、禅学大会、於 花園大学	1988. 11
学会発表(単)	「晦山戒顕と『靈隠晦山顕和尚全集』」、中国域外漢籍国際学術会議、於 ハワイ・プリンスビル	1989. 7
学会発表(単)	「牧雲通門の『五論』をめぐって」、宗学大会、於 駒澤大学	1989. 11
学会発表(単)	「京都大学図書館所蔵『蔵経書院本』について」、中国域外漢籍国際学術会議、於 台北・政治大学公企中心西楼礼堂	1991. 8
学会発表(単)	「木陳道忞の著述について」東アジアの伝統文化会議、於 福岡市中央市民センター	1994. 4
学会発表(単)	「雍正帝の資料について」、中国域外漢籍国際学術会議、於 福岡大学セミナーハウス	1994. 8
学会発表(単)	「元代における五山と元叟行端」、駒澤大学公開研究会、於 駒澤大学会館	2003. 1
学会発表(単)	「明末清初における天童寺の住持について」、禅学大会、於 花園大学	2009. 11
学会発表(単)	「明代末期における臨済禅理解…臨済宗旨論争を通じて」、第2届中日臨済禅学術検討会、於 中国上海玉仏寺	2011. 9
学会発表(単)	「禅門の法式における黄檗禅の影響」黄檗宗与十七世紀的東亜文化交流国際学術研討会、於 台湾大学	2015. 10
学会発表(単)	学会発表(単)「明清仏教研究の視点」近世東亜仏教的文献和研究、於 台湾仏光大学	2016. 7
学会発表(単)	「日本現存の明清期の全集著述—中国刊本と和刻本—」近世東亜仏教的文献和研究、於 花園大学国際禅学研究所	2017. 2
学会発表(単)	「雪嶠円信の法系と『拠源録』」近世東亜細亜的文献和研究国際研討会、於 台湾仏光大学	2017. 6

